

謹んで新春の
お祝詞を申し上げます



備の平成9年度工事着手を目
標に、平成7、8年度の2ヶ
年にわたって全体計画の構想、
立案に取り組みで参ります。

保健福祉につきましては、
生涯を通じた健康づくりのた
め、保健事業を一層充実し、
各種検診、健康教育及び健康
相談等のサービスを総合的に
実施すると共に、在宅の寝た
ざりや身体の不自由なお年寄
りの介護サービスを実施する
ため、デイサービスセンター
を併設した保健センターを建
設し、利用者の立場に立った
保健福祉の一体的な施設の整
備を図ります。

また、社会福祉協議会に対
する活動支援とともに、ボラ
ンティア活動の推進を図りな
がら高齢者世帯や一人暮らし
老人に対する給食サービス、
ホームヘルパーによる支援介
護、家事援助サービスなどき
め細かい在宅福祉の向上に努
めます。

農業については、大きな転
換期を迎えており、農業経営
の自己改革を図るべく、コス
ト低減、農地流動化を主とす
る経営基盤の強化、農地の基
盤整備等大きな課題が山積み

しているなかで、中核農家、
生産組織の育成を更に推進し
良質米の生産基地としての地
位の確保に努めて参ります。

商工業の振興につきましては
は、商工会との連携強化を凶
りながら、地域に根ざしたサ
ービスの向上を目指し、商店
街美化事業、中小企業の育成
従業員健康事業及び後継者育
成等、これらに対応した事業
の充実を図って参ります。

教育面では、教育委員会、
学校、家庭の連絡を密にして
現在、社会問題となっている
「いじめ」などが起きない環
境づくりに努めると共に、小
中学校のいきいきスクール推
進事業の展開により、学校教
育の活性化を図ります。

また、村民プールの改修や
生涯学習の環境改善など、基
盤整備に努めて参ります。
今年も、円満な村づくりを
モットーに精一杯、努力する
所存でありますので、倍旧の
ご理解とご協力を心からお願
い申し上げますと共に、皆様
の御健康と御多幸をお祈り申
しあげて、年頭のご挨拶とい
たします。



月潟村長
金子由征

新年あけまして
おめでとうございます。
皆様には、清々しく新年を
お迎えのことと心からお慶び
を申し上げます。

昨年中は、公私にわたり、
各位のご理解とご協力を賜わ
り厚く御礼申し上げます。と
くに2月の任期満了に伴う村
長選挙におきましては、無競
争当選というこの上ない栄誉
を頂き心から感謝申し上げます。
いるところであります。大変
ありがとうございました。

経済面においては、9月に事
実上の景気回復宣言が出され
たところでありますが、今だ
に経済の停滞感が変わらず、
企業においては更にリストラ
が進み、税収の落ち込みは地
方財政を益々悪化させており
ます。

また農政においては、ガッ
トウルグアイ・ラウンド合意
に基づく農産物、特にコメの
自由化、食糧法の廃止と新食
糧法の成立により大きな転換
期を迎えることとなりました。
このような状況下にあつて、
村では住民の皆様のニーズを

的確にとらえ、より効率的な
行政運営に心掛けて参る所存
であります。

平成7年度では、農村総合
整備モデル事業の促進、交通
安全施設の歩道整備、下水道
事業の推進、保健センター及
びデイサービスセンターの建
設などを柱に行政の推進にあ
たる所存であります。

農村総合整備モデル事業は、
平成6年度末の進捗率が約92
%の見込みであり、平成8年
度で事業が完了する予定とな
りました。このため、平成7
年度は、集道5号道路の改良
農道8号道路の舗装、防火水
槽の建設などの事業促進を精
力的に取り組みます。

交通安全施設の歩道整備は、
県道月潟・西川線の東長島地
内及び村道6号線の上曲通地
内の整備促進を図ります。

また、村道113号線及び48号
線のいわゆる味方村のシンコ
ーストアーから巻信組月潟支
店までの県道昇格に伴う農産
物運搬道路として、西萱場地
内、農道105号線の改良を進め
て参ります。

下水道事業につきましては、
西川流域下水道の事業促進に
努めるとともに、村内の面整

今年亥年

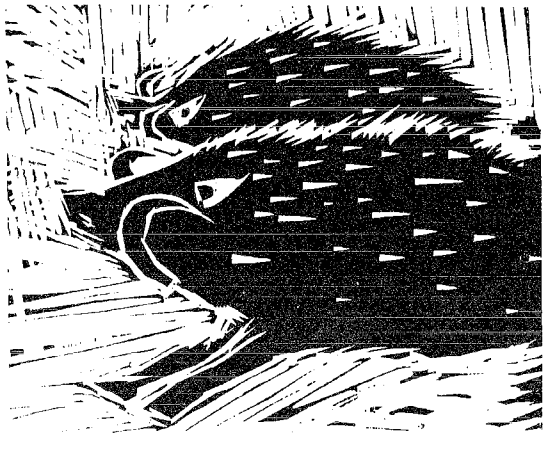
今年 亥年——十二支
の最後の干支です。
十二の方向を示す十二支それ
ぞれに動物を当てたのは中国
です。中国でも当然同じ
亥年です。しかし、おもしろ
いことに、中国ではカレンダ
ーなどにかかれる絵は、イノ
シシではなくブタの絵を見か
けます。イノシシはブタの先
祖ですから、同じようなこと
なのでしようか。

さて、イノシシは、日本で
は北海道、東北、北陸の一部
を除いた広い範囲に分布して
います。奄美大島や沖縄など
には、琉球イノシシと呼ばれ
ている小型のものが生息して
います。

猪首

猪首 という言葉がある
は首が短い独特の体形をして
います。口吻(口先、口元)
が長く、その先に円盤状の鼻
鏡があります。首から背にか
けての剛毛は怒ると立つので、
怒り毛と呼ばれます。雑食で、

キノコやタケノコなどの植物
を食べますし、ヘビやカエル、
ミミズなどの動物も食べます。
イノシシは夜
間に食を求めて
人里に現れ、栗
や芋、稲などを
食べてしまいま
す。芋は鼻鏡を
巧みに使つて掘
り起こし、栗は
きばで穴を開け
て食べます。ま
た、ぬたを打
つ、といつて、
体に泥を塗る習
性があるので、
たんぼを荒らす
こともしばしば
です。このため、
人間はイノシシを害獣とし、
畑やたんぼに垣などをめぐら
し、イノシシの侵入を防ぎま
す。



人間 は、昔からイノシ
シをさまざまに利
用してきました。肉は獣肉を
用ひてきました。

食へることを忌避していた時
代から、山くじらと呼んで
食へてきました。毛はブラシ
に、歯は印材に、胃液はマム
シにかまれたときに使つたと
いいます。皮は靴用に使われ
ましたが、それは怒り毛で縫

つたようです。
イノシシといえは、猪突猛
進という言葉が連想します。
でも、いまはゆとり時代で
す。暮らしにメリハリをつけ、
猪突猛進をしたら、ゆつくり
休むようにしたいものです。